

レジメンcode:	C16-26
適応がん種:	胃癌
レジメン名:	Ramucirumab+nab-PTX
間隔:	4週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
RAM	サイラムザ	8	mg/kg	点滴[*1]	d1、15
nab-PTX	アブラキサン	100	mg/m ²	点滴(30分)	d1、8、15

day1、15 【ケモセーフ使用】

- | | | | |
|--------------|-------|-----------------------|---------------------|
| 1) 生食 | 20ml | 1 A | |
| | | | ポート確認 |
| 2) デキサート | 6.6mg | 1 V | |
| ポララミン | 5mg | 1 A | |
| 生食 | 50ml | 1 本 | |
| | 主管① | 点滴 | 15 分 |
| 3) サイラムザ | | 8 mg/kg | インラインフィルター必須 |
| 生食 | 250ml | 全量250mLになるように生食調製 | |
| | 主管② | 点滴 | 初回60分 |
| | | | 2回目以降30分[*1] |
| 4) 生食 | 50ml | 1 本 | |
| | 主管③ | 点滴 | 15 分 フラッシュ用 |
| 5) 生食 | 50ml | 1 本 | 主管③投与終了後より開始 |
| | | | 主管②のフィルターを通さないこと |
| | ▶側管① | 点滴 | ルート確保 |
| 6) アブラキサン | | 100 mg/m ² | 【ケモセーフ使用】 |
| 生食 | 50ml | (5mg/mLになるように調製) | |
| | ▶側管② | 点滴 | 30 分 インラインフィルター使用不可 |
| 7) 生食 | 50ml | 1 本 | |
| | ▶側管③ | | フラッシュ |
| 8) ヘパリンNaロック | 10ml | 1 筒 | |
| | | | ルートロック |

〈所要時間 約2時間30分〉

〈初回 約3時間〉

day8 【ケモセーフ使用】

1) 生食	20ml	1 A		
				ポート確認
2) デキサート	6.6mg	1 V		
生食	50ml	1 本		
	主管①	点滴	15 分	
3) 生食	50ml	1 本		
	主管②	点滴	15 分	
4) アブラキサン		100 mg/m ²		【ケモセーフ使用】
生食	50ml	(5mg/mLになるように調製)		
	主管③	点滴	30 分	インラインフィルター使用不可
5) 生食	50ml	1 本		
				フラッシュ
6) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒		
				ルートロック

〈所要時間 約1時間30分〉

【サイラムザ】

*蛋白尿があらわれることがあるので、本剤投与中は蛋白尿を定期的に検査すること(減量基準あり)。

*infusion reactionがあらわれることあり。

・grade3、4 →本剤の投与を直ちに中止し、再投与しないこと

・grade1、2 →投与速度を50%減速し、その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与すること

*インラインフィルター**使用必須**。

*調製後:室温4時間、冷所24時間以内までに使用を開始すること。

【アブラキサン】

*特定生物由来製品

医薬品名(販売名)、その製造番号又は製造記号(ロット番号)、使用年月日、使用した患者の氏名、住所等を記録し、少なくとも20年間保存すること。

*インラインフィルター**使用不可**。